

CENTENARY

2010. 5. 12

第 50 号

兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成

野球部

県ベスト8進出

東播地区優勝

で県大会へ・・・

本校野球部が、3月31日から4月6日までの春季東播B地区予選を勝ち上がり、見事4年ぶりの地区優勝を果たしました。

地区予選では、好投手のいる白陵や松陽を僅差で破り、決勝で県立農業に14対0の6回コールドで勝ち、優勝しました。

この戦いでの特筆すべきことは、投手が4試合で四球がゼロ、また守備陣もエラーゼロということ。まさに練習の成果を出せた素晴らしい試合でした。その結果、県大会への出場権を得ることができました。



地区決勝戦での好打長谷君

4月24日(土)、県大会でも好調を維持し、初戦の相手である滝川高校に8対1の七回コールドで勝利を収めました。滝川高校は地区予選で強豪校である育英高校を倒し、また県大会の一回戦で明石商業高校を倒して勝ち上がってきた実力校だけに、この『コールド勝利』は非常に大きな自信となりました。



好投光るエース小原君

また、この試合もノーエラー、無四球試合で戦い、実力を向上させる良い経験となりました。この結果、県ベスト8に入ることができました。



地区優勝～高砂球場～

4月29日(木)、県大会準々決勝が明石球場で行われました。

惜敗に成果あり

相手は、昨秋の近畿No.1、またこの春の甲子園兵庫県代表校の神戸国際付属高校です。

簡単には勝たせてもらえないことは十分に承知していたものの、互いに得点が入らないまま中盤となり、まずは西高が2アウトランナーなしから2点を先制。が、すぐに追い上げられ、結果逆転負けとなってしまいました。

この試合では、これまでずっとノーエラーのところ、やはりミスが出てしまいました。まだまだ精神力の弱さ、心のタフネスさが足りないことを痛感させられた試合でもありました。但し、幸いにも夏のシード権は獲得できました。この夏には必ず『西高旋風』を巻き起こし、「夏はベスト8以上進出だ」と、部員一同一丸となって練習に励んでいます。今後とも応援のほど、よろしくをお願いします。

ちょっと一言 様々な部活動が本校にはあります。中でも野球部は部員の多さでは運動部No.1です。野球部員の中でもベンチ入りできる数には限りがあります。今回の県ベスト8の後ろには、スタンドで応援にまわった多数の部員の存在があり、まわりの級友がいます。また、支える保護者がいて、我々教職員、同窓生、地域の方々もいます。そのことをキャプテンの徳永君が県大会前、新聞社の取材で話してくれました。野球部のみならず、体育部、文化部すべて、その活躍は学校の一体感を高めてくれ、私たちがうれしくさせてくれます。